

## 大学教育再生加速プログラム（AP） 事後評価調書

【公表】

|           |                   |
|-----------|-------------------|
| 1. 整理番号   | 13                |
| 2. 大学等名   | 東京女子大学            |
| 3. テーマ    | II. 学修成果の可視化      |
| 4. 取組学部等名 | 現代教養学部            |
| 5. 事業期間   | 平成26年度～令和元年度（6年間） |

【公表】

| 8. 事業の概要（※400字以内）  | (353文字) |
|--|---------|
| <p>東京女子大学は、キリスト教を基盤としたリベラル・アーツ教育を通して①専門知識、②汎用的能力、③倫理性等の態度・志向を涵養し、「専門性をもつ教養人」を育成してきた。本事業では、本学のリベラル・アーツ教育による学修成果（特に②汎用的能力、③態度・志向の修得度）の効果を測定する独自の指標を作成・開発し、アセスメントを行う。その結果を可視化して、リベラル・アーツ教育のアセスメント・モデルを構築することを目標とする。教養教育にはどのようなアプローチが可能であるか、アセスメント・ポリシーを策定し、具体的な指標の開発・作成を行っていく。学内のみならず卒業生や企業等にも調査を行い、本学の教育への客観的な把握も行う。本学の教養教育プログラムの人材養成の目的の達成度を客観的に測定し、教育改善を恒常的に図る取組である。</p> |         |